

クラウドファンディング支援者様対象

## 松竹大谷図書館見学会ご報告

事務局 武藤祥子

「【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。」プロジェクトで、5万円の支援をしてくださった方を対象として、11月27日(木)に松竹大谷図書館見学会を開催いたしました。

見学会は、10～12時と14～16時の2回行いました。まず閲覧室で松竹大谷図書館について簡単に説明の時間を設けた後、閲覧室に特別展示した資料の説明、台本カバー作り体験、そして書庫内見学の順に行いました。

閲覧室の特別展示は、二代目中村吉右衛門さん、十二代目市川團十郎さん(当時海老蔵)、十五代目片岡仁左衛門さん(当時孝夫)の3名の歌舞伎俳優がそれぞれ出演された新派公演のポスター3枚を額に入れイーゼルで展示し、机上展示は、今回の【第3弾】プロジェクトの支援金でデジタル化を行う「芝居番付」を各種並べました。映画関係では、先日亡くなられた名優・高倉健さんの代表作『幸福の黄色いハンカチ』の資料一式を展示しました。そして通常非公開の組上燈籠『一之谷熊谷陣屋之場五枚続組上』の複製も展示し、書庫の一番奥のスペースには、同じく通常非公開の押隈の軸2本【『歌舞伎十八番の内 景清』昭和24年2月東劇 景清(二代目市川猿之助=初代市川猿翁)・『菅原伝授手習鑑 車引』昭和25年2月新橋演舞場 松王丸(二代目市川猿之助=初代市川猿翁)、梅王丸(九代目市川海老蔵=十一代目市川團十郎)、桜丸(十六代目市村羽左衛門)】を展示しました。こちらの軸は、12月11日(木)から歌舞伎座ギャラリーに展示されますが、その前に初御目見得となりました。

午前の回は、1名様でのご見学となりました。前回もご参加下さった方でしたので、当館の説明は簡単に行い、閲覧室の展示をゆっくり見て頂きました。今回初めて設けた台本カバー作り体験では、とてもきれいにカバーを作られ、記念としてお持ち帰り頂きました。その後書庫の中をご案内し、台本カバーやポスター袋をひとつひとつ手作りしている点に感心して下さいました。また、閲覧室に展示した川上音二郎の新派公演の番付と同じ公演の絵本番付をお見せし、番付が書庫の中でどのように管理されているかも見て頂きました。

午後の回は、2名様のご参加で、午前と同じようにご案内しました。お一人の方は図書館で働いていらっしゃるとの事で、分類の工夫や、記事のファイリングの方法などを熱心に聞いて下さいました。また当館で作成している演劇上演記録データの活用状況や、図書館の資料がどのように活用されているかの具体例をお知らせしました。また、午後のグループにもリピーターの方がいらしたので、リクエスト頂いた資料をお見せしました。

今回もあっという間の二時間で、ご見学下さった支援者の方にはご満足頂けたようですが、書庫をご案内する時間が足りなかったなど、反省しました。この反省を生かし、よりお楽しみ頂ける見学会を開催できるよう、努力してまいりたいと思います。



## クラウドファンディング支援者様対象 歌舞伎座ギャラリーガイドツアー

11月27日(木)に、クラウドファンディング「【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。」で、3万円の支援をしてくださった方を対象として企画しました松竹大谷図書館の司書による歌舞伎座ギャラリーガイドツアーを行いました。

歌舞伎座ギャラリーでは、今年は4月から歌舞伎海外公演をテーマに『歌舞伎は旅する大使館』展を開催していますが、前期(4月から8月)〈海外公演、その輝かしい歩み〉、後期(9月から2月)〈歌舞伎ファンを世界に〉ともに、松竹大谷図書館から多数の資料を展示に提供しています。ギャラリーではイヤホンによる解説ガイド(有料)も行っていますが、直に資料に接し整理してきた司書ならではの視点からお伝えできるものがあると思います、ギャラリーのご協力も得て解説ツアーを企画しました。



当日は3人の方にご参加いただきました。コンパクトな広さのギャラリーに、盛りだくさんに展示がされていますが、じっくりご覧いただけたかと思います。



前期で展示されていた1928年ソ連公演に始まる歌舞伎海外公演の概要、訪問回数がトップ(10回)の都市であるニューヨークでの公演を中心に、海外で歌舞伎を上演する苦心や難しさ、発生したハプニング、それを乗り越える工夫や現地スタッフと協力して公演を成功させてきた様子をご説明しました。公演年表のコーナーでは当時話題になったトピックスを交えながらお話しし、海外での人気演目(『棒しばり』『藤娘』『連獅子』)の衣裳と押隈などを展示している部屋ではそれぞれについての解説させていただきました。

ほぼ小一時間かけてギャラリーを見ていただいたあとは、夜空に夕月が浮かぶ歌舞伎座屋上庭園を巡り、五右衛門階段を軒瓦の“逆さ鳳凰”を探しながら下り、思い出の名優の写真が並ぶ回廊を回りましたので、第1期から第4期の歌舞伎座と現在の歌舞伎座の建築についてや、大正昭和の名優にも関心を持っていただくことができたように思います。毎月、東西の芝居をご覧になっている非常に熱心な歌舞伎ファンはじめ、みなさま歌舞伎がお好きな方ばかりでしたので、ときおり質問や、ご自分の思い出、感想を下さみながら終始和やかにお付き合いくださいました。

時間も限られており、また慣れないことでお伝えしきれなかったことも多いのですが、歌舞伎に興味を持っていただき、そして松竹大谷図書館の活動をご理解いただける機会を今後も作っていくことができれば、と願っております。

時間も限られており、また慣れないことでお伝えしきれなかったことも多いのですが、歌舞伎に興味を持っていただき、そして松竹大谷図書館の活動をご理解いただける機会を今後も作っていくことができれば、と願っております。



### 「歌舞伎は旅する大使館」展(【後期】「歌舞伎ファンを世界に」)

会期：2014年9月4日(木)～2015年2月15日(日)(※当初予定より会期を延長)

※2014年12月27日(土)より2015年1月1日(木・祝)の年末年始は休館

会場：歌舞伎座ギャラリー 東京都中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー5階

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

<http://www.shochiku.co.jp/play/kabukiza/gallery/>

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『紙の月』	○	○	○		○
『日々ロック』	○	○	○		○
『THE NEXT GENERATION バトレイバー 第6章』	○		○		
『METライブビューイング2014-2015』	○		○		
『宇宙戦艦ヤマト2199 星巡る方舟』	○		○		

■ 映画プログラム ■

『イコライザー』 『100歳の華麗なる冒険』 『天才スピヴェット』  
 『インターステラー』 『くるみ割り人形』

■ 松竹系 11月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『寿式三番叟』				
	『井伊大老』	○			
	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○			
	『御存鈴ヶ森』	○		○	○
	『勸進帳』	○			
	『義経千本桜 すし屋』	○			
新橋演舞場	『鶴八鶴次郎』	○	○	○	○
	『京舞』	○	○		
明治座	『高時』	○	○		
	『夏姿女團七』	○	○	○	
	『四天王楓江戸粧』	○	○		
松竹座 (大阪)	『朗らかな嘘』	○			
	『愚兄愚弟』	○		○	○
	『ふるさとに橋あり』	○			
	『色気噺お伊勢帰り』	○			
	桂吉弥独演会			○	○
博多座	『笑う門には福来たる 女興行師吉本せい』			○	○
永楽館	『桂川連理柵 帯屋』	○			
	『お目見得口上』			○	
	『神の鳥』	○			
マドカホール	文化会館開館30周年記念歌舞伎舞踊公演			○	
吉野川市鴨島公民館	吉野川市市制十周年記念錦秋吉野川歌舞伎			○	
地方巡業	『彦山権現誓助剣 杉坂墓所・毛谷村』	○		○	
	『団子売』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	10月	悪い芝居『スーパーふいクション』プログラム、台本
大阪新歌舞伎座	10月	『おんなの家』プログラム
	11月	『北島三郎最終公演』プログラム
吉祥寺シアター	10月	青年団『暗愚小傳』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	10月	青年座『地の乳房』プログラム、台本
	11月	トラッシュマスターズ『夢みのしつらえ』プログラム
国立劇場小劇場	10月	『「八犬伝」を聴く』プログラム 『文楽素浄瑠璃の会』プログラム
国立劇場大劇場	11月	歌舞伎公演『伽羅先代萩』プログラム
国立文楽劇場	10月	『東西名流舞踊』プログラム
座・高円寺1	11月	カムカムミニキーナ『G海峡』プログラム
ザ・スズナリ	10月	ペンギンブルペイルパイルズ『靴』プログラム
	11月	月影番外地『つんざき行路、されるがまま』プログラム
シアターグリーン Box in Box	10月	Pカンパニー『沈黙』プログラム
シアタークリエ	11月	『夫が多すぎて』プログラム
シアター711	11月	ウォーキング・スタッフ『304』プログラム
下北沢駅前劇場	11月	げんこつ団『つぶつぶ』プログラム
世田谷パブリックシアター	10月	『MANSAI 解体新書』プログラム
帝国劇場	10月	『あなたがいたから私があった』プログラム
俳優座劇場	10月	名取事務所『背骨バキバキ「回転木馬」』プログラム
三越劇場	10月	劇団若獅子『目明し金次郎 真昼の決闘』プログラム、台本
博品館劇場	10月	『ALONE 青い鳥のくれたおくりもの』プログラム 『ファウスト・オデッセイア』プログラム
パルコ劇場	10月	カンパニー・フィリップ・ジャンティ『忘れな草』プログラム
MOMO	11月	香魚拓『殉職刑事』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』82号	『シアターガイド』2015年1月号
『あぜくら』2014年11月号	『ジョイン』2014年82号, 上演記録に関する調査報告書正会員 団体上演記録〔学校公演〕2013年
『演劇ぶっく』2014年12月号	
『演劇界』2015年1月号, 特別付録「2015歌舞伎俳優カレンダー」	『ステージぴあ』2014年11+12月号
『大向う』平成26年12月号	『テアトロ』2014年12月号
『Confetti』2014年DECEMBER, 2015年JANUARY	『伝統文化新聞』2014年102号
『Confettiかわら本』2014年12月号	『悲劇喜劇』2014年12月号
『SePT倶楽部 information』 2014年11月	『ほうおう』2015年1月号
『喝采』2015年1月号,2月号,3月号	『邦楽の友』平成26年12月号
『上方芸能』2014年194号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年12月号
『国立演芸場公演ガイド』平成26年12月号	『日本舞踊』66巻12月号
	『日本照明家協会誌』2014年11月号
	『ミュージカル』2014年11月-12月号



(新着資料案内 続き)

## ■ 映画雑誌 ■

- 『映画撮影』2014年203号  
『映画ビジネス』平成26年11月下旬号  
『映画秘宝』2015年1月号  
『映画テレビ技術』2014年12月号  
『映画論叢』37号  
『衛星劇場プログラムガイド』2014年11月号,12月号  
『キネマ旬報』2014年12月上旬号,12月下旬号  
『藝術学研究』24号  
『ザ・テレビジョン』2013年9/13号,9/20号,9/27号,10/4号,10/11号,10/18号,10/25号,11/1号,11/8号,11/15号,11/22号,11/29号  
『シナリオ』2015年1月号  
『シナリオ教室』2014年12月号  
『松竹(社報)』2014年184号  
『SCREEN』2015年1月号,スター&監督大名鑑2015  
『TVガイド』2013年9/13号,9/20号,9/27号,10/4号,10/11号,10/18号,10/25号,11/1号,11/8号,11/15号,11/22号,11/29号  
『ドラマ』2014年12月号  
『NFCカレンダー』2014年2月号  
『日経エンタテインメント!』2014年12月号  
『ラ・アルプ』2014年12月号  
『ロケーションジャパン』2014年12月号

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

## ■ 書籍 ■

- 『一谷嫩軍記(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『蒲冠者藤戸合戦(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『傾城枕軍談(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『元日金歳越(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『車還合戦桜(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『曾我昔見台(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『丹州翁打栗(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『尼御台由比浜出(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『本朝檀特山(義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部  
『万屋助六二代[カミコ](義太夫浄瑠璃未翻刻作品集)』 玉川大学出版部

≫≫ 資料提供(2014年10月~2014年11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

### 展示

- 「品川区民芸術祭2014 ○美術館企画展「亀井武彦の玄亀ANIMA展〔よきことあれ〕」2014年10月18日より11月4日 ○(オー)美術館  
映画台本『路傍の石』を展示に提供。
- 歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎は旅する大使館展(後期)歌舞伎ファンを世界に」2014年9月4日より2015年2月15日(会期延長あり)  
戦前筋書の挿絵4カットを展示に提供。
- 「十一月新派特別公演」2014年11月1日より11月25日 新橋演舞場  
ポスター『鶴八鶴次郎』(平成13年7月新橋演舞場「初代水谷八重子二十三回忌・花柳章太郎三十七回忌追善、七月新派公演」)を劇場ロビー展示に提供。

### 出版

- 『松竹ISSUE 十一月社報184』2014年11月20日 松竹株式会社  
『松竹社報』第111・114・115号(1959年7・10・11月)を提供。
- 『男はつらいよ 廉価版DVDボックス』2014年10月29日 松竹メディア事業部  
映画プログラム『男はつらいよ 寅次郎純情詩集』『男はつらいよ 寅次郎かもめ歌』をDVD特典付録に図版として提供。

### その他

- 「シンポジウム:新領域・次世代の日本研究 内務省の映画検閲『祇園の姉妹』(1936)の場合」(木下千花)2014年11月11日 国際日本文化研究センター  
映画台本『祇園の姉妹』の検閲部分を学会発表の中で投影。

## 「大島渚監督と松竹 1960 年」展

展示期間：2014 年 11 月 28 日～12 月 26 日／於 閲覧室

2013 年 1 月 15 日、日本映画を代表する巨匠、大島渚監督が逝去しました。大島監督の一周忌にあたる本年、第 67 回カンヌ国際映画祭クラシック部門で『青春残酷物語』が 4K デジタル修復版で上映されました。また、11 月 28 日より第 15 回東京フィルメックス連動企画「1960 -破壊と創造のとき-」で、1960 年に発表された松竹作品が上映されます。1960 年に、それまでの松竹大船調とは異なった、大胆で熱を持った新しい作品が若い監督たちによって次々と発表されたのは、『青春残酷物語』のヒットがきっかけでした。

京都大学法学部卒業後、1954 年に松竹大船撮影所の助監督試験に合格し入社した大島渚監督は、主に大庭秀雄監督の助監督を務めるかたわら、監督を目指すべく、同人雑誌「7 人」を 1956 年に創刊し、シナリオを発表する場をつくりました。同じく助監督として働いていた高橋治、田村孟、吉田喜重らが参加した「7 人」は 2 号で廃刊しますが、その発展の形で、助監督室より「シナリオ集」を創刊します。大島、田村、吉田が中心となって作られたこの雑誌は、「シナリオを書くことが監督になる基準であるとすれば、その機会は助監督全員に開かれていなければならない」（「体験的戦後映像論」[朝日新聞社発行]より）という大島監督の考えが反映されており、合評会も行われました。この「シナリオ集」9 号に掲載された大島監督の『鳩を売る少年』が『愛と希望の街』として劇映画デビュー作となります。1960 年に『青春残酷物語』を発表すると、高橋治、吉田喜重、篠田正浩、田村孟、森川英太郎らが後に続いて作品を発表します。当時の安保闘争ただ中の情勢も反映したこれらの作品は社会に衝撃を与えましたが、『日本の夜と霧』（1960 年）が 4 日で上映中止になったのをきっかけに、翌年大島監督は松竹を退社しました。

その後、大島監督は創造社を設立し（1961 年）、独立プロダクションの監督として、社会性・政治性を持った多彩な作品を世に送り出しました。1973 年に創造社を解散した後は、大島渚プロダクションを設立し（1975 年）、外国資本と組んで『愛のコリーダ』『戦場のメリークリスマス』などを発表。『愛の亡霊』では 1978 年第 31 回カンヌ国際映画祭で監督賞を受賞し、名実ともに国際的な評価を得た監督となります。遺作は『御法度』で、その後療養生活を送り、2013 年に 80 歳で亡くなりました。



（左：「7人」1号、右：「シナリオ集」9号）

今回は大島渚監督作品を中心に、1960 年を代表する作品も展示しております。

### 【展示資料一覧】

- 『7人』1号 ●雑誌 1956 年 1 月 編集兼発行人：7人の会発行
- 『シナリオ集』9号 ●雑誌 1958 年 12 月 発行：松竹大船撮影所監督助手会
- ◆大島渚作『鳩を売る少年』（公開タイトル：『愛と希望の街』）が掲載されている。

### 【大島渚監督作品】

- 『愛と希望の街』（1959 年松竹）
  - 台本 [梗概：仮題『鳩を売る少年』]、スチール
  - 監督・脚本：大島渚、出演：藤川弘志、富永ユキ、望月優子
- 『青春残酷物語』（1960 年松竹） ●スチール
  - 監督・脚本：大島渚、出演：桑野みゆき、川津祐介、久我美子
- 『日本の夜と霧』（1960 年松竹） ●プレスシート
  - 監督：大島渚 脚本：大島渚、石堂淑朗 出演：渡辺文雄、桑野みゆき、芥川比呂志
- 『無理心中 日本の夏』（1967 年創造社） ●スチール
  - 監督：大島渚 脚本：田村孟、佐々木守、大島渚 出演：桜井啓子、佐藤慶、戸浦六宏
- 『少年』（1969 年創造社+ATG）
  - 雑誌「アートシアター」69号
  - 監督：大島渚 脚本：田村孟 出演：渡辺文雄、小山明子、阿部哲夫
- 『愛の亡霊』（1978 年フランス+日本） ●プレスシート
  - ◆1978 年第 31 回カンヌ国際映画祭監督賞受賞
  - 監督・脚本・脚色・台詞：大島渚 原作：中村糸子 出演：吉行和子、藤竜也、田村高廣

### 『戦場のメリークリスマス』（1983 年イギリス+日本）

- プログラム 監督：大島渚 脚本：大島渚、ポール・マイヤー
- ズバーグ 原作：サー・ローレンス・ヴァン・デル・ポスト
- 出演：デビッド・ボウイ、坂本龍一、ビートたけし

### 『マックス、モン・アムール』（1986 年フランス）

- プログラム 監督：大島渚 脚本：大島渚、ジャン・クロード・カリエール 原案：ジャン・クロード・カリエール 出演：シャーロット・ランプリング、アンソニー・ヒギンズ、ダイアナ・クウィック

### 『御法度』（1999 年大島渚プロダクション+松竹）

- 完成台本、スチール 監督・脚色：大島渚 原作：司馬遼太郎
- 出演：ビートたけし、松田龍平、武田真治

### 【松竹 1960 年作品】

- 『彼女だけが知っている』（1960 年松竹） ●スチール
  - 監督：高橋治 脚本：高橋治、田村孟 出演：笠智衆、水戸光子、小山明子
- 『ろくでなし』（1960 年松竹） ●スチール
  - 監督・脚本：吉田喜重 出演：津川雅彦、川津祐介、高千穂ひづる
- 『乾いた湖』（1960 年松竹） ●スチール
  - 監督：篠田正浩 脚本：寺山修司 原作：榎葉英治
  - 出演：三上真一郎、炎加世子、山下洵一郎
- 『悪人志願』（1960 年松竹） ●スチール
  - 監督：田村孟 脚本：田村孟、成田孝雄 出演：津川雅彦、炎加世子、渡辺文雄
- 『武士道無残』（1960 年松竹） ●スチール
  - 監督・脚本：森川英太郎 出演：森美樹、高千穂ひづる、山下洵一郎

## 専門図書館協議会見学会（関東地区）「渋沢史料館」参加報告

日時：2014年11月18日（火）15：00～17：00

参加者：井川繭子

渋沢史料館は、近代日本経済社会の基礎を築いた渋沢栄一の活動を広く紹介するための博物館として1982年に開館した。公益財団法人渋沢栄一記念財団が運営する建物は、現在の東京都北区飛鳥山公園の一部にあった旧渋沢邸「暖依村荘」跡に建っており、展示施設のある本館の他に、渋沢栄一ゆかりの大正期の建物である晩香廬と青淵文庫が公開されている。

はじめに職員の方のご案内で、渋沢栄一が賓客をもてなすために利用していた晩香廬と、書斎などに使っていた青淵文庫を見学した。いずれも震災や空襲を免れて今に残った貴重な建物で国指定重要文化財に指定されており、細部にまで意匠が凝らされた見事なものだった。

次に本館にて、実業史研究情報センターの方に、渋沢社史データベース等のウェブ発信活動についてご説明いただいた。所蔵資料を保存するだけでなく、積極的に内容を発信して利用につなげていこう、という意欲的な内容だった。

その後は本館展示室で行われていた企画展「商人の輿論をつくる！渋沢栄一と東京商法会議所」と常設展を見学した。現在の東京商工会議所の前身である東京商法会議所の初代会頭に就任するなど、数多くの会社や団体の設立に係わった渋沢栄一の膨大な仕事の一端を知ることができた。

渋沢史料館 <http://www.shibusawa.or.jp/museum/index.html>

渋沢社史データベース <http://shashi.shibusawa.or.jp/>



青淵文庫内部 扁額は渋沢栄一の揮毫によるもの



晩香廬外観

### ≫≫ お知らせ

来年のカレンダーが完成しました！2015年の開館日は、右のカレンダーにてご確認くださいませ。

来年も当館にお越しくださいますよう、スタッフ一同お待ちしております。

#### 松竹大谷図書館カレンダー2015

\* 印の日は休館日です

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31							

  

3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4			
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

  

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

  

9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

  

11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30	31				



## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年11月にご支援いただきました

#### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

#### 個人（50音順・敬称略）

イズミ K. タイ틀ー

中野内敏伸

森政美

どうもありがとうございます

▼早いもので、今年も残りわずかとなりました。本年中は大変お世話になりました。皆様のお力で一年間支えていただき、スタッフ一同ありがたく思っております。どうぞよい年末年始をお過ごしください。



■お知らせ■  
▼本年春より調整中だった、新しい図書館管理システムが徐々に稼働し始めました！閲覧室の検索画面が新しくなりました。新規資料の登録も始めており、今月より資料案内で図書の新規登録資料案内が再び始まりました。これから皆様に多くの資料をお知らせできるように、随時資料登録を進めてまいります。

■年末年始休館のお知らせ■  
平成26年12月27日（土）より平成27年1月7日（水）まで年末年始のため休館とさせていただきます。



- 利用案内●  
開館時間  
平日午前10時～午後5時  
休館日  
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間  
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
- 交通案内●  
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分
- 入館料 無料
- 閲覧 館内閲覧のみ